



元気が一番

保健のお知らせ

【問い合わせ】
町住民保健課
健康推進
グループ
☎ 73-2256

各種検査の無料クーポン券のご案内

5月下旬に、左表の対象者へ肝炎ウイルス検査、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付します。

無料クーポン券の有効期限は令和4年3月31日までですので、お早めにご利用ください。

【表1 無料クーポン券送付対象者】

種類	送付対象者 (下記期間内に生まれた方)
肝炎検査	昭和56年4月1日～昭和57年3月31日
乳がん検診	昭和55年4月2日～昭和56年4月1日
子宮頸がん検診	・平成12年4月2日～平成13年4月1日 ・平成8年4月2日～平成9年4月1日 ・平成4年4月2日～平成5年4月1日

肝炎ウイルス検査を受けたことはありますか？

肝炎ウイルス検査では、血液検査でB型またはC型肝炎ウイルスに感染していないか調べます。肝がんの原因の80%はB型・C型肝炎ウイルスです。肝硬変や肝がんは悪化するまで症状がありません。検査でB型・C型肝炎に感染していることが分かると、抗ウイルス療法により肝硬変・肝がんへの進行を予防できます。

がん検診を定期的に受け、早期発見・治療に役立てましょう

がん検診により早期がん（症状が出る前のがん）を発見し、治療することが重要です。がん検診を受けて「異常あり」と判断された場合は、必ず精密検査や、診断・治療を受けることが必要です。異常の原因を突き止め、治療を早期に始めることで治る可能性が高まります。

【表2 成人用肺炎球菌定期予防接種対象者】

年齢	対象者 (下記期間内に生まれた方)
65歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
70歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日
75歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日
80歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日
85歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日
90歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日
95歳	昭和元年4月2日～昭和2年4月1日
100歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日

成人用肺炎球菌定期予防接種

日本人の死因の第5位は肺炎です。予防接種により、肺炎球菌による肺炎の重症化や死亡のリスクを減らすことができます。

対象となる方には、毎年4月に個別通知を送付していましたが、令和3年度は新型コロナウィルスワクチン接種と明確に分けるため、6月上旬に送付する予定です。5月末までに接種を希望される場合はお問い合わせください。

◆対象者

左表に該当し、過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種していない方

◆助成料金 3500円

※接種費用から助成金額を差し引いた額を医療機関にお支払いください。

くりやま健康マイレージ参加賞

令和2年度のくりやま健康マイレージのポイント交換は、令和3年4月30日で終了しました。令和2年度に交換できなかったポイントをお持ちの方に、ポイント数にかかわらず、参加賞をご用意しています。希望される方は、令和2年度のポイントカードをお持ちのうえ、健康づくり推進協議会事務局（町住民保健課健康推進グループ 役場③番窓口）へお越しください。

国民年金

20歳以上の学生の方へ

保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」をご存じですか？

「学生納付特例制度」は、前年所得が基準以下の学生の方を対象とした、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

保険料を納められないときは、未納のまま放置せず学生納付特例を申請しましょう。

【学生納付特例のメリット】

- 老齢基礎年金を受給するために必要な期間（受給資格期間）に算入されます。
- 病気やけがで障がいが残ったときに障害基礎年金を受給できます。

【対象となる方】

大学（大学院）、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校（修業年限が1年以上の課程のある学校）に在籍する学生で、ご本人の所得が基準以下の方

※前年所得の目安は、128万円＋扶養親族等の数×38万円＋社会保険料控除等以下です。

【申請に必要なもの】

年金手帳、基礎年金番号通知書またはマイナンバーカード、学生証または在学証明書
※学生納付特例の承認を受けた期間があると、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る老齢基礎年金額は少なくなります。

承認を受けた期間の保険料は、10年以内であれば、後から納めること（追納）ができます。

【問い合わせ】 町住民保健課国保グループ ☎ 73-7508

こんにちは！ 町史編さん室です

百年前の「栗山發達記念誌」

栗山町最初の公的な歴史本として、開拓50年記念に出版された「角田村史」（昭和15年発行）があります。それ以前に開拓初期の栗山を研究するうえで、貴重な手書きによる私家本（自費出版本）が存在します。今から104年前の大正6年、当時の栗山尋常高等小学校（現・栗山小学校）校長である有松準太郎氏が、執筆・発行した「栗山發達記念誌」です。有松氏は開拓当時の資料や逸話などを収集し、学校の創立25周年となる大正12年の完成を目的に執筆していましたが、転任を命じられたため、やむなくそこで完成としました。離任後、栗山小学校へ1部が寄贈され、今も校長室で保管されています。

本誌には、当時の角田小学校校長である武田義清氏や泉麟太郎校長との回顧談などが記述されており、開拓当時の村づくり、学校づくりの様子がかがえる貴重な資料となっています。この記念誌は、昭和26年と昭和37年にそれぞれ角田村労働組合協議会議長山内栄治氏（当時）と元役員職員の森義弘氏によって模写され、町史編さん室で森氏手書きの模写本を保管しています。また、平成8年には「栗山の歴史を学ぶ会」の皆さんが、3年にわたる解読に取り組み、復刻発刊しています。

本町最初の史本「角田村史」より20年以上前に執筆され、開拓から大正初期をつづる「栗山發達記念誌」が、来年発刊予定の「栗山町史第3巻」とともに、重要な郷土史として再び目の前を見ることが出来ます。（高倉）

【問い合わせ】
町史編さん室
☎ 7820

No.57

栗山發達記念誌



栗山發達記念誌